



# The Y's Men's Club Of Kyoto-Capital

# 2009 12

## Bulletin

2009. 12. 1. 発行  
第27巻 第6号 通巻317号

（JCLD D'THED）  
京都YMCA  
〒600-8281 京都市中京区  
錦町三丁目1番1号

THE Y'S MEN'S CLUB OF KYOTO-CAPITAL  
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

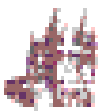
和名：京都YMCA 英名：The Y's Men's Club of Kyoto-Capital

TEL: 075-251-1111 FAX: 075-251-1112 E-MAIL: kyoto@yccapital.jp

CHARTERED BY J.C.M. INTL

## クラブ主眼 Ongoing Legacy, and Brotherhood!! ～ 継続、そして絆のつづき ～

特別企画	【一つとなる力】『The Power of One』	EMC委員長 橋本 眞一	△ 民・富 田 誠 史
メイン企画	【一つとなる力】『The Power of One』「働くお父さん、愛するママ」『Working Dad, Loving Mom』	AP 斎藤 隆 博	△ 民・富 田 誠 史
西日本区主催	【愛の心】『愛の心』「100% 純粋な愛」『100% Pure Love』	EMC 斎藤 隆 博	△ 民・富 田 誠 史
京都部主催	【愛の心】『愛の心』「100% 純粋な愛」『100% Pure Love』	EMC 斎藤 隆 博	△ 民・富 田 誠 史
・アート企画	【愛の心】『愛の心』「100% 純粋な愛」『100% Pure Love』	EMC 斎藤 隆 博	△ 民・富 田 誠 史



『あなたがたは、布にくるまって飼葉桶の中に寝ている乳飲み子を見つけるであろう。  
これがあなたがたへのしるしである』  
(ルカによる福音書 第2章12節)



## 仲間を増やそう！

EMC 委員長 橋本 眞一

今期は2度目のEMC委員長です。前回は6年前、EMC委員長として大変苦い経験があります。多くの方も覚えておられると思いますが、仁科京都部部長を擁し秋に京都部会をホスト、春にはクラブ創立20周年の記念式典を終えホッと迎えた6月末、6名ものメンバーが一挙にクラブを去り、新年度を29名で迎えるという事態になったことです。それぞれ事情があったとは思いますが、大変残念に思いましたし、クラブとして節目の年を乗り越える難しさを知ったものです。当時EMC委員長としても責任を感じ、少し落ち込んでいましたが、今は亡き堀さんから「去る者は追わず、また新しいメンバーを入れようや。」と慰められたことを覚えています。

そのような訳で、今期EMC委員長を引き受けるに当たり、次期仁科西日本区理事誕生に向けても、何とか20周年当時の35名に戻したいとの思いからスタートしています。そのため、先ずメンバーに増強に対する意識を高めてもらうことを目的として、テーマを『増強』に絞り、各委員会とは別に少人数

で座談会を開催する。その結果を発表する機会を設けると共に、班毎にメンバー候補のリストアップまで行い、具体的に勧誘活動を行っていく。EMC委員会としてなすべきことはそれぞれの勧誘活動のお手伝いをする事、ゲストが参加しやすい機会を何回か設けること、そして最も重要視していることは、座談会等により折角高揚したメンバーの意識を持続してもらうよう働き掛け続けることなのです。

座談会のような機会を設けることにより、メンバー間でより一層の親睦を計れたということだけでももちろんプラスだとは思いますが、やはり増強の結果が出なければ何もなりません。座長始め皆さんには負担をお掛けしますが、再度班内で現状を把握頂き、次なるステップにお進み頂くようお願いいたします。

時々羽目を外すことはありますが、キャピタルクラブは素晴らしいメンバーの集りです。自信を持って、みんなで仲間を増やしていきましょう。

## 西日本区 強調月間

## 12月 EMC - M

人は力です。みんなの力で2000目指してゆきましょう。

廣井 武司 EMC 事業主任  
(京都プリンスクラブ)

11 月 報 告		在籍者数 30名 第一例会 28名 メンバーゲスト 2名 第二例会 27名 ゲスト 3名 メンバーゲスト 1名 メネット 1名 出席率 100%		切手 0円 現金 0円 累計切手 0円 累計現金 3,800円 JWF 0円 E F 0円 累計 0円		第一例会 9,000円 第二例会 0円 累計 80,000円		ネクタイファンド 22,300円 パンファンド 3,000円 累計 56,482円		献血成分 0cc 成分累計 1,200cc 成分累計 0名		11月例会 23.26kg (ペットボトル換算 5,958本) 累計 389.37kg (ペットボトル換算 100,452本)		第一例会 2,723円 第二例会 2,724円 今期累計 23,621円 累計 360,796円

## メンバースピーチ 経営に役立つ労使の問題

山田 隆之



講師の金原さん

今日は、中西所長による「ベデスタの家」の近況報告と「職業を生かした例会」ということで金原さんのメンバースピーチがメインプログラムで例会がスタートしました。今年度は、毎年恒例になっていた「ベデスタまつり」が中止になり、毎年顔を合わす子供達と会えない事と、キャピタルのメンバーが腕を振る模擬店もなく大変残念な結果となりました。近隣の問題とスタッフ

が思い描くお祭りのあり方にズレが生じたようで、再度検討し、新たにスタートされるようで、来年の結果が楽しみです。

続いて、メンバースピーチで登場された金原さんは、社会保険労務士の知識を生かし労使間の問題を詳しく、多くの事例を挙げて解説されました。大変解りやすい内容で、経営者の多いメンバーにとっては、日常的に抱える問題で大変有意義な時間を持ってました。

また、前回の例会に引き続きメンバーゲストも参加され、仁科理事期をまもなく迎える機運の盛り上がりを感じられる例会になりました。



山田(隆)さん紹介の山井隆さん

# 11月第二例会

## 青年難聴者の話とサインダンス

吉井 崇人

今日は、いつもの部屋とちがって「葵殿」で行われました。滋賀蒲生野クラブから20周年記念祝会へのお誘いに水野博人会長、岩越喜代治副会長、三原茂靖さんが出席、大山医院から言語聴覚士の鶴田美津さん、認定補聴器技能者の坂井純二さんが2人の難聴者の補助者として出席されました。いつもより大勢でたのしい雰囲気で行いました。

CS アワーという事で、講演前に大山さんより難聴の解説をして頂き、「青年難聴者の話とサインダンス」をテーマに、虹のつばさからお越し頂いた西田敬康様・井口泰享様よりご講演・ダンスをして頂きました。

障害の発症時期により大きな違いがあるという事、70dB以上の音が聞こえない方から「ろう」と認定され援助が出るという事、ろう学校に通っている間は、

不自由を感じなかったが、社会に出たとたん周囲とのコミュニケーションに苦労された事。

私にとって当たり前の事が、ものすごく大きな障害になっている事を知りました。その中でも、お二人が社会で働いておられるお話を聞き、大きな勇気を頂きました。

体全体で表現される「サインダンス」は迫力があり、何かが伝わって来る素晴らしいダンスでした。

ご講演頂いたお二人にエネルギーを頂いたような気がした例会でした。

ありがとうございました。



サインダンス - 難聴でも踊れる!!



会長 西田さん 井口さん 坂井さん 鶴田さん

## ワイズデー

内田 雅彦

11月1日午前10時 ひと・まち交流館 京都にてエイズ予防対策協議会「あ・うん」江崎久美子理事長のご講演が、松谷地域奉仕・環境事業主査のご紹介のあと始まりました。



スクリーンに映し出される映像と音楽でスタートです。小さな男の子と女の子が段々と成長していく中でお互いが成人になりエイズ検査を受け、男子に陽性、女子に陰性 男子が苦しみ悩んでいる様子が映し出されていました。

江崎久美子さんの講演の中、エイズで一日に8,000人もの方が亡くなっている事に驚き、また若者にエイズ患者が多いこと、世界では中・高等学校のトイレにコンドームの自販機を設置し始めていること、日本人がエイズに関心が少ない事が分かりました。

UGP5カ年計画「HIV/AIDS」の最終の年です。地域の人たちにも参加して頂き、エイズについてとても分かりやすいご講演をして頂きました。

参加者：石倉、大山(孜)、瀬本、森(常)、八木、山口、山田(隆)、山田(英)、田中(升)、内田、石倉コメット 計11名



## 息

竹田 博和

台風20号が接近し、荒天になりつつある伊豆諸島の八丈島沖で10月24日、8人乗りの漁船「第一幸福丸」が僚船との交信を最後に、行方不明となりました。

4日後の28日、セオリーどおり救命いかだに乗り込んだ船長は絶命し、船内に取り残された3人が救助されました。そして船内から脱出を試みた4人は、いまだに行方不明です。

台風が通過している状況下、暗闇の中いつ船体が沈没するかわからない恐怖に耐え、最後まで生きる希望を持ち続ける不屈の精神力にはただただ頭が下がる他ありません。

救命いかだに乗り込んだ船長、船内から脱出した4人、船内に逃げ遅れた3人。彼らの運命を左右したものは何だったんでしょう。

意味合いはまったく異なりますが、経済学者のアダム・スミスが「神の見えざる手」という言葉を使っています。私も、その見えざる手にひょいと摘み上げられ、息の出来る側に置かれているのでしょうか。今日も継続して息の出来ていることに感謝。

## 怠け者と小心者と私

田中 雅博

元来、怠け者である私は物事を継続するのが苦手です。それ以上に、小心者の私は一度始めたことを途中でやめることに対

する恐怖心が強いため、今までこれだけはかたくなに続けているといったことがありません。

そんな中でもかろうじて続けていることと言えば、毎月一日の神さん参りと歩くことくらいです。

神さん参りは会社の幹部とずーっと続けているのですが、実はこれも本当はやめたいと思っています。しかしやめたら変なことが起こったら困るのでやめずに続けているだけです。

歩くことに関して、決して「毎日何時間歩くか決めていいる」というものではなく、歩きたい時にはかなり歩かし、夏場は暑いので全然歩きません。だから必ずしも健康増進に貢献しているとも思いませんし、かろうじて不健康に傾くのを止めているくらいであります。

ただ、もしかしたらこんないい加減な性格が、ストレスをためずに健康でいられる秘訣かも知れません。

## 継続して集まっています

田中 升啓

「継続」というテーマの意味と少し違うような気もしますが、京都に帰ってきてから3年以上、定期的に幼なじみの男友達3人と《上鳥羽会》という飲み会を開いています。

最初は近所で久しぶりに偶然会ったのが始まりで、それから続いています。メンバーの3人は小学校からの同級生で、なかなか会えない時期もありましたが、子供のころの思い出を共有してきた仲間です。お互い見た目はおっさんになっていますが中身は何も変わっておらず、集まれば仕事も忘れてリフレッシュできて、とてもいい時間が過ごせます。

ちなみに今期のテーマは「継続」、前年期は「Let's Begin」というみごとに繋がっているテーマなので「Let's Begin そして継続中」という内容を書ければいいのですが、恥ずかしながらゴルフは継続中とは言えない状態です…。

しかし、この原稿を書くことで前述の友人も巻き込んで、また練習しようと思いました。

## オータムフェスタ開催

香山 章治

11月15日(日)紅葉も深まる中、オータムフェスタが宇治のリトリートセンターで開催されました。朝10時集合、責任感の強い大山謙一Yサ委員長は早くから来られて準備をされておりました。キャピタルクラブは毎年飲み物販売担当なのですが、今年は焼きそばも提供することになりました。集合時間になりますと、メンバーがぞろぞろ集合。いつもの握手、握手。さあ11時の開会までの間に準備をやらなければ！ 焼きそばの準備はキャピタルクラブでは手慣れたもの。たちまち良い香りがしてきて食欲をそそります。11時になると他クラブも準備OK。

開会式は和太鼓での華やかなオープニングでした。開会式が終わればゴング開始！ 例年よりたくさん集まったチビ子達を中心に楽しそうに食べ物を頬張る姿。きゃっきやと賑やかな声。キャピタルクラブの用意した焼きそばは大好評！ ビール・熱燗・ジュース・お茶・コーヒーもまずまずの売れ行きでした。

さて、ご来場の皆さんも食べて飲んで一服したところで、これまた恒例の綱引き大会！



好評だった焼きそば



綱引き大会第4位



キャピタルクラブは何にしてもすぐに本気になるトコロが長所であり短所でも…。「絶対に勝つぞ！」と訳の分からない恐いぐらいの一体感！ 1回戦は快勝!! 2回戦も「よ～いパーン」よいしょ、よ～いしょ、一時は勝利寸前までいきましたが、その後、たぶん何人かが油断したのが一気に形勢不利。「ウーンヨ～イショ～…」「あかん負ける…」「ウーン～」「パーン」…惜敗。選抜選手は全員息があがってしまいました。いい大人が大人気ない…まさにこのことかも…。

翌日、朝起きると股関節がイタイ…ちょっとやりすぎたかなあ～と反省。そんな思い出が残る秋のとても楽しい一日でした。来年こそは絶対に優勝だ!! 重量選手をそろえなければ…。

参加者：石倉、石倉メネット、石倉コメット、大山(謙)、勝山、香山、菅原、瀬本、田中(升)、田中(升)コメット2名、幡南、森(繁)、八木、八木メネット、八木コメット、山口(雅)、山口(雅)コメット、山田(隆)、山田(英)、山田(英)コメット、吉井

# YMCA 国際協力街頭募金

森 繁樹

11月1日(日)雨天の中、京都市内9ヶ所で街頭募金活動が行われました。約400名の奉仕者が参加して、総額342,956円の募金が寄せられました。



集められました国際協力募金は、京都YMCAの国際協力活動や日本YMCA同盟を通じて紛争で苦しむアフガニスタン難民・パレスチナ難民の子どもたちの教育支援や貧困で苦しむインドの子どもたちへの教育支援活動の支

援などに、また、アジア・太平洋地域台風・地震の被災者への支援活動に使われます。



街頭募金に頑張った子供たち

参加者：石倉、石倉コメント、内田、金原、瀬本、竹田、森(繁)、山田(隆)、山田(英)、山田(英)コメント、八木、山口(雅)

募金場所	募金額	募金場所	募金額
三条大橋交差点	20,100	平安神宮	11,931
三条河原町	62,822	YMCA 三条本館前	57,388
八坂神社石段下	16,018	京都駅前北 京都タワー前	22,358
四条河原町 南西・北西	103,634	京都駅南地下1階 アバンティ前	30,015
四条烏丸	18,690	合計	342,956

**聖句の解説** クリスマスおめでとございます。キリストが誕生したクリスマスの夜、ベツレヘムの馬小屋の中に「しるし」が満ちていました。約束通りに羊飼いや占星術の博士など今でいうと聖書の世界とは一線を画していた人々にその約束が示されました。

人混みにあふれかえるベツレヘムに到着したマリヤとヨセフに幼子が与えられたしるしも、宝石の様に輝いています。アンジェラ・エルウェル・ハントの「三本の木」というお話があります。

山のてっぺんで将来を夢見て、一番目の木は、宝を入れる箱になる。二番目は、大きな船になって海上を駆けめぐる立派な船になる。三番目の木は、世界一のつぼの木になる。と叫びました。

ところが大きくなった一番目の木を見た木こりは、斧を入れ倒したのですが大工さんの仕事場で造られたのは家畜の飼葉桶でした。ある夜、一番目の木は金色の光に照らされました。ひとりの女の人が、生れたばかりの赤ん坊を、飼葉桶にねかせています。「ゆりかごだったらなあ。」ご主人の声が聞こえます。女の方は言いました。「この飼葉桶もすてきですよ。」木の肌に星の光が映ります。その時はじめて一番目の木は気づきました。自分は世界で一番尊い宝物をいれているのだと。人は見える世界を基準としているなら、神さまは見えない世界を基準としていることをしています。

## 年間活動目標PR

クリスマスのさまざまな活動を通して、いじめ・虐待を大切にするクリスマスクラブのメンバーの活躍や、若者の声、まわりの人への笑顔、地域の人にはマスメディアを巻き込んで、アッピールしましょう。

# 11月・12月予定抄

- 12月1日(火) 第一例会
- 12月14日(月)~19日(土) クリスマスロビーコンサート
- 12月18日(金) クリスマスキャロリング
- 12月22日(火) 役員会
- 12月23日(水) クリスマス例会
- 1月16日(土) 新年例会(パレス合同例会)
- 1月19日(火) 半期総会
- 1月26日(火) 役員会

## HAPPY ANNIVERSARY

大門 和彦・洋子 ご夫妻 12.13

## HAPPY BIRTHDAY

- メネット
- 竹田 倫子 12.16 山口 重子 12.28
- コメット
- 内田 一希 12.23 村田 圭悟 12.30

**第4回 役員会議事録**  
2009年10月27日(火) 19:00~21:00  
ウェスティン都ホテル京都

- <報告事項>
- 西日本区
- ・滋賀蒲生野クラブ20周年記念例会 2010年3月7日(日)
  - ・国際の会計年度変更(4/1~3/31)に伴い献金日変更
  - ・EMC 10月集計+4人で合計1,748人。その内京都部は446人
- 京都部
- ・10年2月20日 エイブルクラブ 20周年記念例会
  - ・チャリティーボウリング 1月24日 しょうざんボウル
- YMCA
- ・12月14日~19日 クリスマスロビーコンサート
  - ・12月18日 クリスマスキャロリング
- 三役報告
- ・パレスクラブ合同例会 1月16日
- <各事業委員会報告>
- Yサ・ユース
- ・Yサアワー 12月1日 キャンプを知ろう
- 地域奉仕・環境
- ・CS 献金・FF 献金のアピール
- ドライバー
- ・23日 クリスマス例会
- 交流
- ・IBC ベゼルクラブと名簿の交換
- ファンド
- ・12月 日本酒の販売・赤味噌の注文
- 広報・ブリテン
- ・1月号記事確認
- EMC
- ・横浜国際大会への参加 現状確認
- <審議事項>
- ・クリスマスロビーコンサート寄付 30,000円
  - ・クリスマスキャロリングお菓子代 3,000円
- 承認 承認

＝ 編集後記 ＝

コトハナ・セミナーという「言葉」(話力)を勉強するセミナーに9月から参加しています。

話し方の基本から、好感を持たれる話し方、説得力のある話し方などのトレーニングを受けて、人前で話すことが少しづつ上達してきています。

12月でセミナーも一旦終了しますが、1月からはパソコンの勉強をしようと考えています。人生一生勉強です。(森 繁樹)

